

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/15 (9/8との比較) 今後の見通し (※4)	9/15 (9/8との比較) 今後の見通し (※5)	前年比 (※3) 景気の方向性 (※6)	先週末 方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	2.09% (+0.11)	90.85円 (+2.44%)	+3.7% 2017年2Q	1.00%	住宅着工件数は市場予想を上回る結果。新築住宅価格指数も堅調。米国の金融政策が意識される中、国債利回りは上昇。カナダドルは対円で上昇。	CPI（消費者物価指数）や小売売上高などの発表を予定。米国の金融政策やNAFTA（北米自由貿易協定）、中銀当局のコメントなどの動向にも注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	8.69% (+0.01)	35.63円 (+1.99%)	+0.3% 2017年2Q	8.25%	7月の小売売上高は市場予想を小幅に下回る結果。大統領に対する新たな汚職疑惑が浮上したことなどから、リアルは対米ドルで下落、対円では上昇。国債利回りは小幅上昇。	第3四半期のインフレーションレポートの公表などを予定。債券市場は中銀の緩和的な政策スタンスなどから堅調に推移すると見込むも、為替市場は政治的不透明感の残存などから上値の重い展開を想定。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.68% (+0.03)	6.27円 (+3.03%)	+1.8% 2017年2Q	7.00%	ハリケーンに対する警戒感の後退や米国金融政策の期待から米ドル高が進行する中、原油価格の上昇が下支えし、ペソは対米ドル、対円ともに上昇。国債利回りは小幅上昇。	小売売上高などの発表を予定。市場予想では上昇を見込む。NAFTA再交渉や、中銀の金融政策の動向をにらみつつ、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/15 （9/8との比較）	9/15 （9/8との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.74% （+0.16）	88.70円 （+2.12%）	+1.8% 2017年2Q	1.50%	8月の雇用統計は正規雇用が主導し、市場予想を上回る結果。企業景況感は前回と横ばいの結果となるも、企業信頼感は上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	主な経済指標の発表はなし。中銀の議事要旨では今後の金融政策に注目。また鉄鉱石価格や地政学リスクに注意しつつも、債券・為替市場はレンジ内の推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.94% （+0.17）	80.83円 （+3.23%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	住宅売上高は前年比でマイナス幅が縮小し、製造業PMIも上昇するなど経済指標は改善方向。北米のハリケーン被害への懸念が和らぎ、リスク回避姿勢が世界的に後退。ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは上昇。	23日の国会選挙へ向けた世論調査は、与野党への支持がまちまちで不透明感が残存。与党、最大野党ともに単独過半数が獲得できない場合の連立交渉に注目。発表される4-6月期のGDP（国内総生産）は堅調となる見込み。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.54% （+0.07）	14.12円 （+1.37%）	+0.2% 2017年2Q	0.50%	11日の総選挙は中道右派勢力が過半数議席を維持し、ソルベルク首相が再選される見込み。中銀発表の地域別調査（今後6カ月）は前回から下方修正。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは上昇。	経済指標は回復方向ながらそのペースは依然緩慢。発表されたインフレ統計が低下したこともあり、21日の中銀理事会では政策金利が据え置かれる見込み。翌22日の中銀総裁講演で今後の政策方針が示されるか注目。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

市場概要・見通し（南アフリカ、インドネシア、インド）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		9/15 （9/8との比較）	9/15 （9/8との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BBB-	7.28% （▲0.02）	8.42円 （+0.97%）	+1.1% 2017年2Q	6.75%	小売売上高は市場予想を下回る結果となり、また経常収支は赤字幅が拡大。さえない経済指標を受けて、ランドは対米ドルで下落、対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	政策金利やインフレ統計などの発表を予定。鈍化基調のインフレを受けて、政策金利は引き下げられる見通し。依然として不安定な国内情勢から、債券・為替市場ともに不安定な展開を予想。
	Baa3	 金利上昇		 景気鈍化	 利下げ局面		
インドネシア 	BBB-	6.09% （+0.02）	0.84円 （+2.07%）	+5.0% 2017年2Q	4.50%	8月の貿易統計では、輸出が市場予想を上回る結果。先進国での国債利回りに上昇に追随し、国債利回りは小幅上昇。市場の円安傾向を受けて、ルピアは対円で上昇。	22日に金融政策決定会合を予定。インフレ上昇圧力が弱まる中、金融政策決定会合において今後の追加利下げの有無が注目。またFOMC（米連邦公開市場委員会）を控えており、国債利回りは上昇しやすい展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.55% （+0.04）	1.73円 （+2.31%）	+5.7% 2017年2Q	6.00%	鉱工業生産は前年比プラス成長に転じた一方、貿易収支はやや赤字幅が拡大。CPIが市場予想を上回ったことなどをを受けて、国債利回りは上昇。ルピーは対米ドルで下落、対円で上昇。	主な経済指標の発表はなし。主要な各国中銀のイベントを控え、同国の債券・為替市場は海外市場の影響に左右されやすいものの、安定した国内情勢から底堅い推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/16～2017/9/15

カナダ



ブラジル



メキシコ



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/16～2017/9/15

オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/6/16～2017/9/15

南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。